

## 品川区子ども・子育て支援事業計画 実績報告トピックス

今回の品川区子ども・子育て支援事業計画の実績報告にあたり、各項目の説明や特筆すべき事項について解説したものを参考資料として添付いたします。「実績資料」とあわせてご覧ください。

### 1 人口と出生の現状

#### (1) 年齢三区分別人口の推移と年少人口の割合

- ・ 0～14 歳の年少人口 3.6%増 (平成元年比)
  - ・ 15～64 歳までの生産年齢人口 2.2%増 (平成元年比)
  - ・ 65 歳以上の高齢者人口 0.2%増 (平成元年比)
- ↳ 三区分別 ともに上昇

#### (2) 合計特殊出生率の推移

※合計特殊出生率

<厚生労働省の定義>

「合計特殊出生率は「15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する」

- ・ 全国 平成 17 年度より上昇し平成 27 年を境に値が下降
- ・ 品川区 東京都および 23 区平均を若干上回る

#### (3) 就学前人口

「①就学前人口の年齢別推移」

↳ 全体では、3 歳を除き前年度より人口が増加

「②就学前人口の年齢別推計」

↳ 今後 10 年以上、品川区では乳幼児人口は増加する見込み

### 2 子育て支援の現状

#### (1) 教育・保育施設の現状

「①認可保育園の定員・利用者数・施設数」

- ・ 定員 10,898 人→11,259 人 (令和元年度→令和 2 年度)
- ・ 利用者数 10,032 人→10,536 人 (令和元年度→令和 2 年度)
- ・ 施設数 124 園→133 園 (令和元年度→令和 2 年度)

↳ 上昇傾向

令和 2 年 4 月現在、認可保育園は、前年に比較し 9 園増

「②地域型保育事業の定員・利用者数・施設数」

- ・定員 平成30年がピーク
- ・利用者数 平成29年度をピークに現在は250人程度で推移
- ・施設数 平成28年度から23箇所横ばい

「③認証保育所の定員・利用者数・施設数」

- ・定員 平成30年度をピークに、緩やかに減少
- ・利用者数 平成29年度をピークに、現在は800人前後で推移

「④幼稚園の施設数・利用者数」

- ・施設数 平成25年以降、区立および私立ともに変更なし
- ・区立幼稚園 利用者数 633人 2.0%程度減少（令和元年度比）
- ・私立幼稚園 利用者数 3,220人 1.6%程度減少（令和元年度比）

「⑤支給認定および年齢別保育施設利用者数」

※認定区分とは

- 1号認定 3歳～5歳の幼稚園利用希望者
- 2号認定 3歳～5歳の保育園利用希望者
- 3号認定 0歳～2歳の保育園利用希望者

i. 支給認定の推移

👉 1号認定の5歳、3号認定の2歳を除き増加傾向

ii. 区内保育施設の利用者数の推移（0歳）（1・2歳）（3歳以上）

👉 全ての年齢で増加傾向

iii. 各年度4月の認可保育園および、地域型保育事業への新規申込み状況

待機児童数 図表4-1～4-3までの待機児童数を年度別に集計した値

令和2年度

0歳 → 0人

1・2歳児 → 11人

3歳以上 → 2人

計13人

### 3 地域子ども・子育て支援事業

<主な点についての説明>

全体的に令和元年度については、新型コロナウイルス感染症に伴う利用自粛等により、実績が伸び悩んでいる事業が見受けられる。

#### (2) 時間外保育事業（延長保育事業）

「①延長早朝保育」

- ・基本開園時間（午前7時30分）の前に保育が必要な世帯について実施
- ・私立保育園 11→13園（令和元年度→令和2年度）

「②延長夜間保育」

- ・公立保育園（全47園）で午後7時30分までの延長保育を実施  
うち7園で午後8時半、6園で午後10時までの保育
- ・私立保育園（全86園）のうち、全園で延長保育を実施  
うち83園で午後8時半までの保育

👉 延長早朝保育 増加傾向

延長夜間保育 働き方改革や新型コロナウイルスの影響により、減少傾向

#### (3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

「①すまいるスクール」

- ・登録数 1校当たりの児童数は増加傾向
- ・参加児童数 平日 増加傾向  
土曜 減少傾向

#### (5) 乳児家庭全戸訪問事業

①すくすく赤ちゃん訪問事業

保健センターで、生後4カ月までの乳児のいる家庭に助産師、保健師が訪問。育児相談、子育て支援の情報提供や養育環境の把握を行う事業。訪問できなかった家庭については児童センターと連携をとり訪問。

・病院からの連携を含めた把握率

94.2%→96.5%（平成31年度→令和元年度）

・訪問率 83.6%→88.8%（平成31年度→令和元年度）

・4カ月検診 96.2%→95.8%（平成31年度→令和元年度）

・その後の調査等 100%→100%（平成31年度→令和元年度）

👉 状況把握は向上している。

(6) 養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

児童の健全な成長に懸念が持たれる家庭に対し、虐待の予防的支援を目的とした事業

☞保健師による訪問指導や、しながわネウボラネットワークの各種事業の実施により、訪問件数は減少傾向

(8) 一時預かり事業

「①幼稚園における在園児を対象とした一時預かり事業（預かり保育）」

区立幼稚園預かり保育

私立幼稚園預かり保育（きんだあくらぶ）

- ・実施施設数 昨年と同様
- ・延べ利用者数 区立・私立幼稚園とも幼児教育無償化もあり、上昇

「②幼稚園以外の一時的預かり事業」

「②-1 一時保育」

保育事由 幼稚園休園

- ・人数 128人→198人
- ・人日数 732人日→1,112人日と上昇

「②-2 生活支援型一時保育（オアシスルーム）」

生活支援型一時保育（オアシスルーム）

- ・実施場所数・延べ利用者数の合計利用者数  
20,182人日→23,731人日と上昇

(9) 病児保育事業（病児保育・病後児保育）

「①病児保育」

令和元年度 1園開園

延べ利用者 1,275人日→2,832人日と上昇

☞今後は地域バランスを考慮し、増設予定

「②病後児保育」

491人日→502人日 500人日程度で推移

☞全体では減少傾向。

#### 4 特別な配慮が必要な児童への支援

合理的な配慮の提供に向けた取り組み

- ①発達支援事業
- ②障害児への巡回相談
- ③医療的ケア児の受け入れ  
(たん吸引(平成29年度～)・経管栄養(令和元年度～))
- ④すまいるスクールでの特別支援児童の受け入れ

#### 5 しながわネウボラネットワーク

子どもを安心してすこやかに生み育てるために、妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の実施

「①妊娠期からの相談事業 全妊婦面接」

妊娠期からの面接相談を通し、母子保健情報や子育てサービスの情報提供

- ・面接率 85%→79%
- ・産後全戸電話相談 1,793件→2,543件

「②産後の家事育児支援の利用助成」

平成29・30年度と助成内容の見直しを実施

- ・利用助成申請者数 218人→325人と増加

以上